

## 青い森鉄道活用会議（仮称）について

### 1 青い森鉄道活用会議の役割

青い森鉄道線が青森開業後も将来に向けて運行を続けていくためには、沿線地域の皆さんが積極的に鉄道の利活用を図っていくことも重要です。

このため、青い森鉄道線（目時・青森間）の利用促進策及び鉄道と沿線地域が共生できる振興方策について、鉄道を利用する住民の皆さんが中心となって検討を進める場として「青い森鉄道活用会議（仮称）」を設置するものです。

#### （協議事項）

青い森鉄道線の利活用に関して、現在地域住民や市町が考えている課題や提案を基に、利用促進方策や鉄道資産の地域活用方策などを検討・協議。

…検討例：鉄道と地域内の交通手段（バス等）との連携による利便向上

駅前駐輪場の整備による利用者の利便向上

駅前広場を活用した産地直売所の実施

駅舎の空きスペースを活用した町内の交流スペースの設置 等

### 2 活用会議の構成

#### （1）会議の構成員

市町（並行在来線担当課等）

地域内の各種団体の代表等から市町が選任した者

例）町内会、NPO、商工会、社会福祉協議会、女性団体、青少年健全育成協議会、老人クラブ、他の交通事業者等が考えられます。

#### （2）活用会議の運営

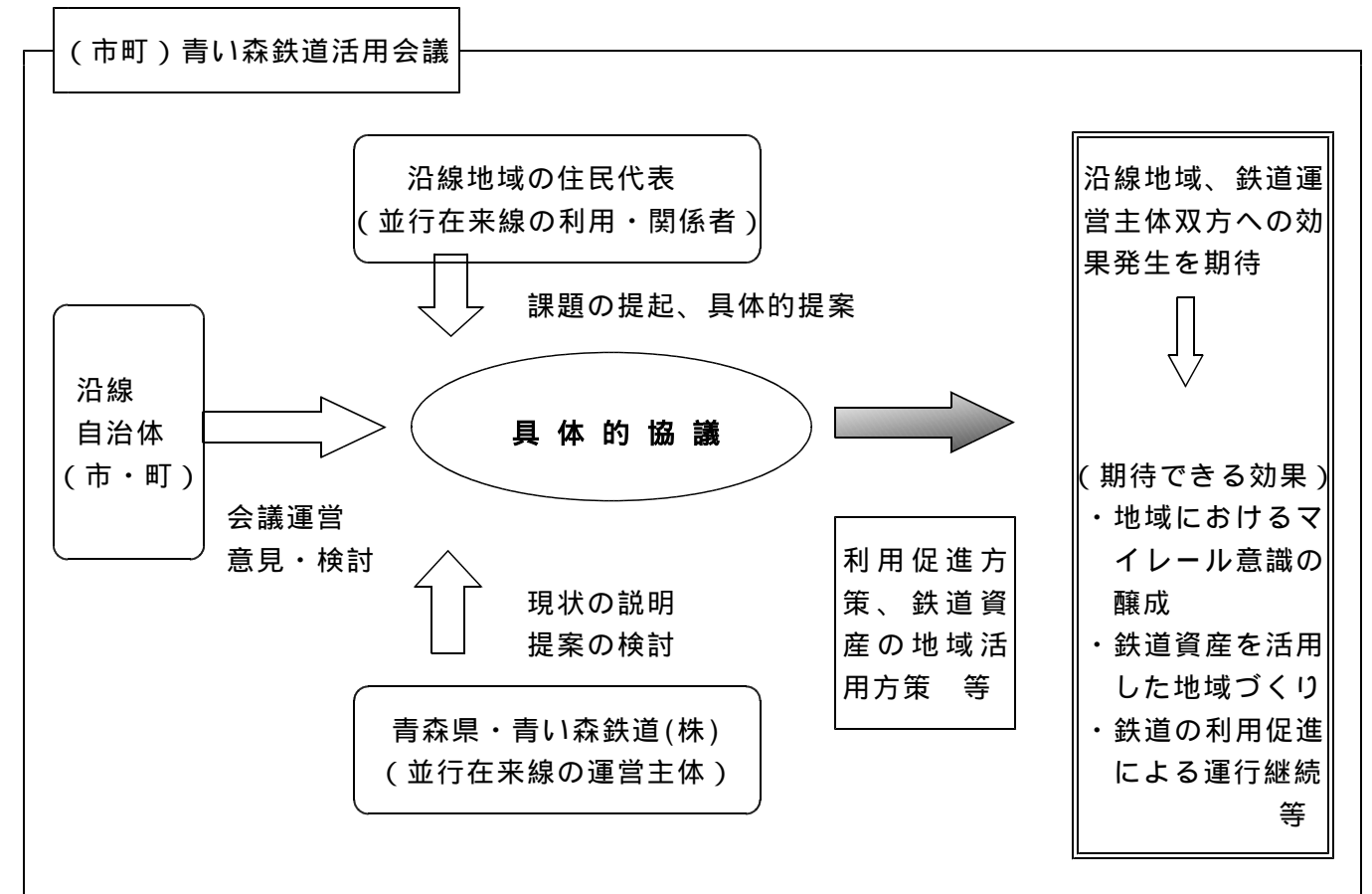
- ・市町に事務局を置き運営します。
- ・県及び青い森鉄道（株）は活用会議の検討、協議に参加し、情報の提供や方策のとりまとめに協力します。
- ・会議は原則公開とし、市町の広報等で活動状況を周知することが考えられます。

### 3 今後の進め方

平成18年6月中を目途に、各市町に活用会議を設置し、順次協議・検討を進めます。  
平成18年12月を目途に、それまでの検討結果をとりまとめ、それぞれの市町に報告します。

以降も、引き続き沿線地域の皆さんが青い森鉄道線を利活用していくための協議・検討を進めていくこととします。

## 青い森鉄道活用会議（仮称）の取組イメージ



## 青い森鉄道活用会議（仮称）のスケジュール

平成18年6月

各市町の並行在来線担当課長を対象とした事務レベルの説明会を開催。  
各市町において構成員の選任を行い、各市町活用会議を設置。

平成18年7～11月

各市町活用会議は、鉄道の利活用に関する課題等を抽出し、具体的な検討・協議を進める。

平成18年12月

各市町活用会議は、それまでの検討・協議した結果を意見等として取りまとめ、市町に報告する。

平成19年1月～

各市町活用会議は引き続き他の新たな課題等についての検討・協議を進める。  
または、とりまとめた意見等の具体化に向けて、関係団体等と協議を進める。

